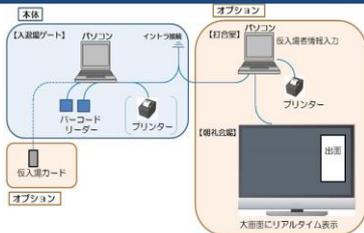


# 日大理工学部作業所ICTへの取り組み



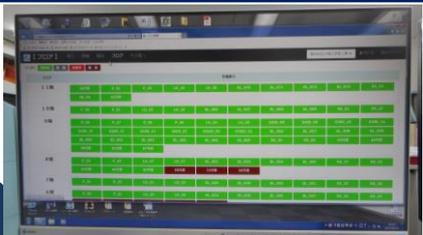
## 入退場管理



QRコードにより作業員の入退場時間を記録、リアルタイムで朝礼会場のモニターに集計表を表示し朝礼時の出面確認を省略している。業者別出面集計表と連動し、大建協や請求時のチェックを自動化している。



## 資機材管理

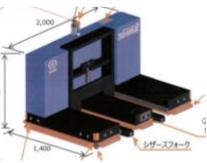


作業員のQRコードを高所作業車の貸出管理に適用、どのフロアでどの業者のどの作業員が稼働しているか、ipadでも確認可能。資機材の管理業務を省力化している。同時に稼働率も向上させている。

無人搬送システム搬送台車ロボキャリアの試行実験中。将来、搬送台車と工事用エレベーターのコンビネーションも目指している。



東京支店全体として、時間を意識した朝礼をスマート朝礼と命名し、教宣活動を行っている。入退場画面を映すことで朝礼時の出面確認省略。休憩所を朝礼会場とすることで、作業員の移動時間も短縮。



## 自動搬送ロボットの試行

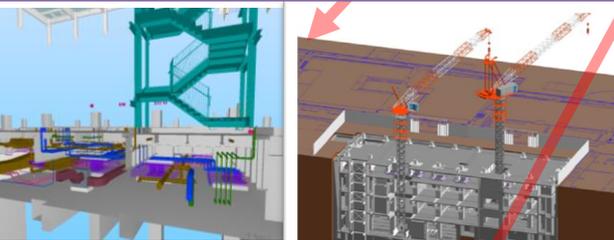


## スマート朝礼

## iPad活用



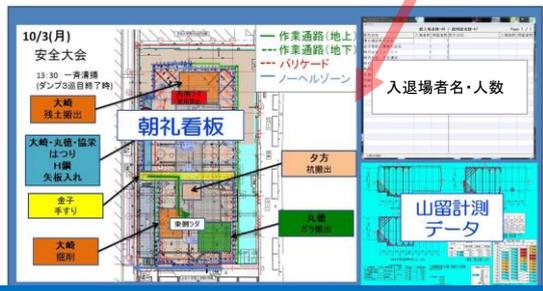
## 3Dモデル検証



3Dで設備電気配管と鉄骨開口の干渉チェックを実施。3D工事シミュレーションを作成し、デジタルサイネージで施工計画を上映することで、作業員へ情報発信している。

## iPadでできること

- 図面を見る
- s-Workerを使う
- WowTalk
- メッセージを共有する
- テレビ電話
- テレビ会議をする
- 配筋検査を行う
- 検査(施工管理標準)を行う
- スケジュールを管理する
- サーバーを見る
- 仮設材を注文する
- 写真を撮る
- 画像を投影する
- 技術資料を確認する
- Officeソフトを使う
- メールを使う
- Before
- after



各休憩所にモニターを設置しデジタルサイネージにより、本日の立入禁止、作業通路、天候、安全ポスター、事故事例、フロアマスターを常時表示している。

図面等の紙資料をデジタル化してipadに保存し参照。また上記、現場監督のITツールをまとめて運用し、現場と事務所との往復時間の削減している。